

## 競輪の知的財産権（競輪選手の肖像権）の取扱いについて

## 1. 競輪選手の肖像権の取扱い

競輪選手は自分の氏名、肖像に対して権利を有しており、競輪選手としての活動の中で氏名、肖像が営利的に使用される場合に利益を持つ。

これについては、日本競輪選手会が競輪選手より委任を受け管理する（女子選手については J K A と復代理人契約を締結）体制とする。

## 2. 競輪選手の肖像権の活用

## (1) 中期基本方針の本質的課題克服に向けた知的財産権の活用

競輪界は、競輪事業の持続的発展に向けた中期基本方針において、「競輪界は、お客様第一主義の下、①顧客満足度の向上による既存顧客のつなぎ止め、②機会損失の解消による売上増加、③新規顧客獲得を共通認識とし、本質的な課題を確実に克服する。」と定めている。

競輪の知的財産権の活用という観点から見ると、既存顧客、新規顧客ともに満足度を向上させるためには、効果的な選手情報の提供や車券購入以外の楽しみを提供することなどが考えられる。また、新規顧客獲得については、競輪の社会的認知度を上げるためにマスコミ等による一般社会へ競輪の露出度を増やすことも必要となる。

## (2) 競輪選手の肖像権の活用

競輪の知的財産権の中でも、競輪の主役である競輪選手の肖像権を使っていくことは有効な手段であることから、J K A、全国競輪施行者協議会、日本競輪選手会は競輪選手の肖像権を活用した施策を計画し実施していく。

## (3) 競輪選手のステータスの向上

中期基本方針の本質的課題の克服、競輪の社会的認知度を上げるためには、競輪選手のステータスを高めることも必要である。

したがって、J K A、全国競輪施行者協議会、日本競輪選手会は、競輪選手の肖像権の活用にあたっては、ステータスの向上にも配慮する。

なお、競輪選手においては、中期基本方針の本質的課題の克服、競輪の社会

的認知度を上げるための競輪選手の肖像権を活用した施策について、今後も積極的に協力していく。

### 3. 競輪選手の肖像権を活用した施策の実施、検討

#### ★競輪選手カードの製作

競輪 70 周年記念事業において J K A が企画、出資し日本競輪選手会が協力して競輪選手カードを製作した。

#### ○製作主旨

競輪は昭和23年（1948年）11月に福岡県小倉市（現：北九州市）でスタートして今年で誕生70周年を迎えた。これまでのお客様からのご声援に感謝の気持ちを伝えるとともにこれを記念して「競輪70周年」記念グッズとして（競輪選手カード）を製作した。

#### ★競輪選手のファンクラブの設立

別紙参照



## 競輪選手会ファンクラブ

2019年3月27日

# 競輪選手会ファンクラブ概要

## (趣旨)

産業構造審議会製造産業分科会車両競技小委員会（産構審）における議論を経て、競輪最高会議で決定した「競輪事業の中期方針」に基づき、（一社）日本競輪選手会では競輪の社会的認知度を上げるために、競輪選手の肖像権を活用した施策として「競輪選手会ファンクラブ」を来年度中に設立する。

## (目的)

競輪ファン・自転車愛好者等を中心に会員を募り、イベントの実施やグッズ販売等をつうじて、競輪選手をより一層身近に感じてもらう。また、会員特典を充実して会員の拡大を図ることにより、新規ファンの獲得、更には競輪のイメージアップにつなげる。

## (運営)

ファンクラブの運営にあたっては、（一社）日本競輪選手会と株式会社ケイドリームスとの間で業務委託契約を締結し、専用サイトを開設し運営を行う。

「運営事務局」に関しては、（一社）日本競輪選手会が主体事務局となり、株式会社ケイドリームスが会員管理等を行う。（運営体制イメージ及び役割分担イメージについては、次ページ以降参照）



## (利点)

1. ファンクラブ運営・管理の知識
2. ファンクラブ事務局の人的負担
3. ホームページの運営知識
4. イベント実施の知識
5. グッズ販売の知識
6. 約30万人会員へのアプローチ

## (会員)

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 1. 会員登録   | 専用サイトにて登録受付                  |
| 2. 会費     | 無料                           |
| 3. 会員サービス | ①イベント開催<br>(競輪選手との交流)        |
|           | ②グッズ販売<br>(肖像権を活用した製作)       |
|           | ③情報提供<br>(選手情報・支部事業情報・競輪情報等) |

## (スケジュール予定)

- |         |                |
|---------|----------------|
| 2019年4月 | 予告サイトオープン      |
| 2019年7月 | サイトオープン(グッズ販売) |
| 2019年9月 | イベント実施         |

## ■ 運営体制

日本競輪選手会  
(管理・指示)



ファンクラブ運営事務局  
(運営)

構成: 日本競輪選手会  
ケイドリームス



ケイド  
リームス  
(運用)



各施行者



JKA

(利点)

- ファンクラブ運営・管理の知識  
ケイドリームスには、インターネット車券購入会員が約30万人おり、登録会員システムの知識がある。
- ファンクラブ事務局の人的負担  
現在の登録会員システム業務と兼任できる。
- ホームページの運営知識  
登録会員システムにより、ホームページの開設・維持・管理の知識がある。
- イベント実施の知識  
各競輪場でのイベントを実施しており、知識が豊富である。
- グッズ販売の知識  
ホームページにグッズストアを開設し、商品の開発・運営・販売等の知識が豊富である。
- 約30万人会員へのアプローチ  
インターネット車券購入会員約30万人へのファンクラブ告知により、会員登録者数の増加が期待できる。

# ■ 役割分担

一般社団法人日本競輪選手会

選手の協力

- ・選手の協力による施策への付加価値

オフィシャル感

- ・選手会公式という安心感

運用提供

- ・競輪開催時に確保されている運用体制
- ・イベント運営ノウハウ

技術提供

- ・投票サイト運営による技術的背景
- ・発売データ・結果データ・選手データの蓄積

30万の会員組織

- ・30万会員への直接的なアプローチ

グッズ企画

- ・選手による付加価値

- ・アクセス動向

将来への投資の共有

- ・新しい収益源に向けた施策

ケイドリームス